

初対面の名刺交換での「つかみ」はこれでOK!

マジックカード

名刺サイズのカード1枚で
4枚分の情報量!
インパクト大の
名刺交換ツール
です。



STEP1



表は一見普通の名刺

STEP2



左右に開くと

STEP3



新しい面が登場(2面目)

STEP4



上下に開くと

STEP5



十字型の新しい面が登場(3面目)

STEP6



また左右に開くと

STEP7



新しい面が登場(4面目)

STEP8



また上下に開くと

STEP9



元の名刺に戻ります



会社案内カード
でもOK

デザイン・印刷は
お気軽に弊社までお問合せ下さい。



株式会社 宏和

東大阪市長田東 1-7-22 TEL 06-6789-2313 FAX 06-6789-2339

<http://www.d-kowa.co.jp/>

<http://scanning.jp/>

オンデマンド印刷 会社案内、パンフレット、チラシ、名刺、カード、封筒、シール、伝票、表彰状
冊子印刷 取扱説明書、カタログ、記念誌、広報誌、報告書、論文、自分史
電子化業務 紙文書・紙図面スキャン(電子化)サービス、データエントリー(入力)、データコンバート
CAD業務 CADデータ出力、CADデータ入力(トレース・設計)、電子納品データ作成
コピー・製本 大判コピー、カラーコピー、各種製本、ラミネート、パネル・看板制作
その他 人材派遣、人材紹介、マイクロ撮影、マイクロフィルムスキャン、WEB制作

コウワノノ

10

Vol.25

発行者：株式会社宏和
所在地：〒577-0012 東大阪市長田東 1-7-22 TEL 06-6789-2313

(株)宏和

(株)宏和が毎月お客様へお役立ち情報をお届けします。

コウワノノ

MONTHLY NEWS LETTER Vol.25

2017

10
October



先日お客様の事務所が移転され、新しい事務所を見学させていただきました。筒抜けの広いワンフロアで見通しがよいオフィスです。移転に際して、営業の机は人数の50%、フリーアドレスで自由に座る形式です。保有営業車は移転前の半以下、営業は公共交通機関での直行直帰を推奨されています。各自で保有できる紙資料の量も靴箱大の小さなロッカー1つ分、基本はすべてデータでペーパーレスになっています。働き方改革を見据えオフィスも変化しています。

代表取締役 日笠宏昭



開催まであと2年をきった

ラグビーワールドカップ 2019 日本大会 ～花園ラグビー場はどうなる?～

日本代表が強豪南アフリカにラストワンプレーで逆転勝利し、「史上最大の番狂わせ」で大きな感動をもたらしたラグビーワールドカップ 2015 in England から早くも2年経ちました。日本で行われる、ラグビーワールドカップ 2019 (2019.9.20～2019.11.2)まで2年を切り、あつというまに大きな大会がやってきます。今月は、ラグビーワールドカップと弊社の所在地、東大阪市の花園ラグビー場の話題です。

ラグビーワールドカップは“World Rugby”が主催する「ラグビー世界一決定戦」です。4年に一度のオリンピック、FIFA ワールドカップと並んで世界三大スポーツ大会と言われています。1987年の第1回大会からの経緯は下記のとおりです。

年	回	開催国	本大会出場国数	優勝国
1987	1	ニュージーランド・オーストラリア	16	ニュージーランド
1991	2	イングランド	16	オーストラリア
1995	3	南アフリカ	16	南アフリカ
1999	4	ウェールズ	20	オーストラリア
2003	5	オーストラリア	20	イングランド
2007	6	フランス	20	南アフリカ
2011	7	ニュージーランド	20	ニュージーランド
2015	8	イングランド	20	ニュージーランド

視聴者数累計は第1回大会が約2億人でしたが、第8回大会では40億人を越えるまでになっています。ちなみに日本は第一回から全大会に出場しています。



RWC2019 プール

2019年の日本大会はすでに予選の組(プール)分けがきまっており、東大阪の花園ラグビー場のほか、全国の12会場で開催されます。来る11月2日には、試合日程・会場が発表される予定です。

POOL A	POOL B	POOL C	POOL D
アイルランド	ニュージーランド	イングランド	オーストラリア
スコットランド	南アフリカ	フランス	ウェールズ
日本	イタリア	アルゼンチン	ジョージア
ヨーロッパ地区1	アフリカ地区1	アメリカ	フィジー
ヨーロッパ・オセアニア地区1	敗者復活予選優勝チーム	トンガ	アメリカ地区2



日本のラグビーの聖地：花園ラグビー場



ラグビー場内観

1929年に日本初のラグビー専用グラウンドとして開場、長らく「近鉄花園ラグビー場」として親しまれ、2015年に近鉄から東大阪市に所有権が移りました。(収容人数30,000人)大正7年(1918年)から行われている「全国高等学校ラグビーフットボール大会」は1962年の第42回大会から現在まで花園ラグビー場で行われています。現在、5つのコンセプトのもと、改修工事が行われています。

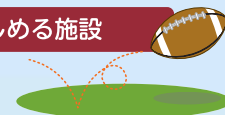
大規模な大会を開催できる施設

ラグビーの西の一大拠点となる施設

誰もがスポーツを楽しめる施設

試合のないときも楽しめる施設

防災拠点としての機能を持つ施設



改修中のラグビー場と前の広場の「対話する石たち」



高校ラグビー歴代優勝校碑



「ラグビーの森」



ラグビーボールの石碑



ラグビー場の玄関口
「近鉄 東花園駅」



東花園駅からラグビー場へ続く「スクラムロード花園」



商店に貼られているポスター

ワールドカップで世界中から来るラグビーファンに最高のおもてなしができるかどうかは、これから2年間の準備と、市民が一丸となって熱い思いを共有できるか、にかかっているように思います。



「トライくん」大健闘中!!

東大阪市のゆるキャラ、「トライくん」が「ゆるキャラグランプリ 2017」で9/15現在3位と大健闘中！
投票はゆるキャラグランプリ 2017のWebサイトからできます！